

事務事業名	下宮地・荊沢線歩道整備事業		所属部局	建設部	単位番号	2014- 900146				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博				
			所属担当	道路河川担当	担当者名	中込隆行				
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 02	目 02	細目 020	細々目 29
政策	11	道路網の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	18	生活関連道路の整備								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	道路法、道路構造令						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 ~ H30 年度)									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	1. 交通量の非常に多い路線であり合併後H18年度～H23年度まで歩行者の安全確保のため一部区間で歩道整備をおこなった路線である。今回、第2期として社会資本整備総合交付金により事業をおこなう。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	2. 計画延長L=250m 歩道幅員 W=2.5m C=160,000千円 H26 事業説明、測量調査設計 H27 用地買収 H28 用地買収 H29 改良工事			委託料	5,530					
						計	5,530			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容: 事業説明 測量、調査、設計 27年度活動予定: 用地取得、物権補償	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない 名称: 単位 ア 事業用地取得割合: % イ 工事延長の割合: % ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	道路利用者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない 名称: 単位 ア 道路利用者数: 人/日 イ 歩道計画延長: m ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	歩道未整備区間の整備により歩行者、通行車両双方の安全確保を図る。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない 名称: 単位 ア 事業の進捗率: % イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	歩行者及び通行車両双方の安全確保・利便性向上。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない 名称: 単位 ア 市内の道路は安全に歩行できると回答した市民の割合: % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円			3,041	25,850	27,500	16,500		
		県支出金	千円								
		地方債	千円			2,300	20,000	21,300	12,800		
		その他	千円								
		一般財源	千円			189	1,150	1,200	700		
		事業費計(A)	千円	0	0	5,530	47,000	50,000	30,000	0	
年間トータルコスト	人件費	正規職員従事人数	人			2	4	4	2		
		延べ業務時間	時間			100	350	350	300		
		人件費計(B)	千円	0	0	455	1,593	1,593	1,365	0	
		(A)+(B)	千円	0	0	5,985	48,593	51,593	31,365	0	
活動指標	ア	%			0.0	100.0	100.0	100.0			
	イ	%			0.0	0.0	60.0	100.0			
対象指標	ア	人/日			4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0			
	イ	m			230.0	230.0	230.0	230.0			
成果指標	ア	%			5.0	60.0	80.0	100.0			
	イ	%									
上位成果指標	ア	%			32.5	33.0	34.0	35.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から旧甲西町、旧桐形町時代から継続的に歩道設置がおこなわれており、合併後も市民からの要望が後を絶たない路線。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	高齢化が進む中、幹線道路において通行者の安全を確保する要望は、益々増えていく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市長への手紙等を通して市民より要望が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	歩行者及び通行車両の安全を確保する中で、交通量を勘案した設計計画を実施し、コスト削減を図っている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	H26年度からの新規事業

事務事業名	下宮地・荻沢線歩道整備事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民をはじめとする道路利用者の安全確保につながるため、整合性はある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民をはじめとする道路利用者の安全確保につながる事務事業であるため、公共事業として行うのが妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民、道路利用者のうるおいと利便性の向上を目的に進めている事業であるため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画時点で、細部にわたり、関係諸所と協議を進めながら、効率的な実施計画を行っているため、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 優先順位に基づき、路線ごと整備を行っているため、統合できない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 長年の地元要望である通行量の多い幹線道路への歩道設置で通学路でもあるため、道路利用者の安全確保が図れず、地元理解を得るのが難しい。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 長年の地元要望に基づき、協議を進める中で進めている事業であるため、地元理解を得るのが非常に難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 計画時点で、細部にわたり、関係諸所と協議を進めながら、コスト削減を含め効率的な実施計画を行っているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最少人数で他課の協力を得る中で進めている事業であるため、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民をはじめとする道路利用者の安全確保につながる事業であるため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	測量調査設計が終わり、事業方針が決まったが、一部地権者との協議調整が難航しているため、関係者と協議する中で早急に解決し、事業の進捗を図ること。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					